

2019 年 3 月 25 日 毎日新聞

医療教育・研究で協定 京都薬科大と京都橘大

京都市山科区にキャンパスを置く京都薬科大と京都橘大が、医療分野の教育・研究、医

療専門職の養成などを図る包括協定を締結した。ともに医療系学部を持つことから合同で質の高い人材育成を図る。京都市内で高齢化率の高い山科区の地域医療の課題解決にも取り組む。

京都薬科大の後藤直正学長は「両大学の学生や教職員が交流を図り、医療のみならず山科区にとっても良いシナジー効果を生み出したい」と語り、京都橘大の細川涼一学長は「新たな地域貢献の機会を作り上げ、社会に積極的に発信したい」と話した。

【進藤郁美】

京都薬科大学・京都橘大学
教育研究に関する包括協定調印式



包括協定を交わした京都薬科大の後藤学長（左）と京都橘大の細川学長＝京都市山科区の京都薬科大学で